

NEW

4A 入門講義

全4回

まず、これから勉強することの全体像を把握するとともに、実際にどのように勉強していけばいいのか、「4A 基礎講座」・「4A 実践答練」の予習・復習方法やスケジュール等も含め、具体的にシミュレートします。

4A 論文解法パターン講義

全64回

出題可能性がある全パターンの論文式問題を
4Aを使って“解く”過程を講師が実演します。

論文本試験に出題される全パターンの論文式“問題を解く”過程（問題文の分析▶答案構成＝下書き▶答案作成）を講師が実演します。適宜考える時間をとるので、皆さんは、“次の一手”を考えながら思考訓練をする中で、知識の使い方を体得することができます。

目的

- どんな法的問題も解ける方法論「4A」の使い方を体得する。
- “本試験問題を解く”という目的を常に意識することで、真に「INPUT」すべき知識を明確にする。
- 問題解決型の思考を身につける。

カリキュラム

憲法	6回	民事訴訟法	8回
民法	16回	刑事訴訟法	7回
刑法	12回	行政法	6回
商法	9回		

使用教材

- ◆ 4A 論文解法パターンテキスト
- ◆ 4A 条解テキスト

【4A 論文解法パターン講義】講義の進め方

● 1回の「4A 論文解法パターン講義」で3問前後の本試験過去問を解きます。

講義前

前回の講義で指定した宿題をこなし、次回の講義で扱う問題文を読んでくれるだけで充分です。さあ、講義に臨みましょう！

問題文の分析

4Aの観点から、問題文のどこに着目すべきか？この問題で問われていることは何か？といったことを一緒に分析していきましょう。

答案構成＝下書き

分析した問題文を、「4A」を使って、皆さんと一緒に考えながら解いていきます。そのプロセスを板書したものが「4A」図。これが、答案構成（論文答案を書く前の下書き）となります。

答案作成

板書した「4A」図＝答案構成を、具体的な論文答案として表現していくプロセスを説明します。「完全解」だけでなく、論文本試験現場で制限時間内に書ける「現実的な合格答案」も示します。

4A 条解講義

全35回

合格のために必要な知識だけを、
条文単位のテキストで網羅的にINPUTします。

「4A 論文解法パターン講義」で本試験問題を解く練習と併行して、本試験の徹底的な分析により厳選した、合格のために必要充分かつ即戦力で使える知識を、論文式試験はもちろん、短答式試験対策にもなるよう、短期間で集中的に「INPUT」していきます。

目的

- 「4A 論文解法パターン講義」で体得した、知識の使い方のイメージを持ったまま、本試験合格に必要な知識を、本試験で使える形で「INPUT」する。

カリキュラム

憲法	4回	民事訴訟法	4回
民法	9回	刑事訴訟法	4回
刑法	4回	行政法	3回
商法	7回		

使用教材

- ◆ 4A 条解テキスト